

科目名		応用科目 I		対象	社会人	単位	※履修証明プログラム
担当	安達 美和子	共同担当 教員	阿部博光、山出淳也、 坂田守史		開講期	半期	
到達目標					学習成果の到達目標		
①温泉の活用法を知り、別府でのサービス等の情報発信ができる。					知能	主体性	就業力
②別府の地域資源を組み合わせた滞在プログラムの提案ができる。					技能	意欲	協働
③人的ネットワークを活用し、課題解決力を身につけることができる。					○	○	○
授業の概要							
<p>本授業では、まちづくり、人づくり、場づくりにと奮闘する多くの講師を招へいし専門的・実践的な講義を受けることで、顧客に役立つ泉質の見分け方、活用法、入浴法、まちの魅力等を学びます。</p> <p>具体的には、他の授業で学んだ様々な知識や演習をとおして、実際に別府を訪れるお客様を対象とした現場での実践を行い、様々な目的を持った顧客に対してのコミュニケーション能力と提案能力の習得を図ります。まら、地域住民との対話やフィールドワークを通じて、様々な地域資源を組み合わせた滞在プログラムを提案する企画力や創造力の習得を図ります。</p>							
授業内容							
<p>1. 「温泉文化と活用」</p> <p>①②温泉活用について学ぶ（新たな温泉文化）・・・双方向 コト、モノ、ヒトの連携と情報発信の必要性、地域資源の活用と文化遺産、プロデュースについて学ぶ。</p> <p>③対象エリアまたは宿の現場を知る ツール（プランシート）で観光素材等を紹介するために、対象エリアまたは宿周辺の素材集めをする。</p> <p>④⑤⑥フィールドワーク 明礬エリア⇒湯の花小屋、お土産、伝統継承、温泉文化のリサーチ ⑦⑧⑨フィールドワーク 鉄輪エリア⇒貸間旅館や温泉熱を使った食、湯治湯、鉄輪地獄蒸し体験</p> <p>2. 「温泉コンシェルジュ演習」</p> <p>⑩⑪観光現場での案内（演習）・・・実地 観光案内所または旅館の受付等で地域の観光案内業務を行う。</p> <p>3. 「温泉コンシェルジュ応用」</p> <p>⑫プランワークの基礎を学ぶ・・・双方向 プランを作成するうえでの基本的な考え方を、レクチャーや事例紹介、ワークシートを用いながら学習する。 情報の収集・発信の仕方を学ぶ。</p> <p>⑬新しい滞在型プラン作成・・・双方向 これまでの学びを通し、ペアまたはグループで特定のターゲットを対象とした滞在プランを企画する（テーマ設定、企画作り）。</p> <p>⑭プレゼン表現法・・・双方向 プレゼンテーションを作成するにあたって、デザインや発表方法について意見交換しながら学ぶ。</p> <p>⑮プランの発表・・・双方向 作成したプレゼンテーションを発表し、フィードバックを行う。</p>							
準備学習 (予習・復習)	各自、温泉や別府観光に関する資料を収集したりファ イル化したりすることが必要です。				オフィス アワー	授業の前後に受け付け ます	
評価方法 基準	ミニレポートや学習課題への対応（30%）、関係者での 模擬接遇又は最終レポート（40%）、責任感や積極性等 の授業中の態度（40%）による総合評価						
テキスト	講師が授業ごとに資料を配付する				備考		
参考資料							